

授業科目	社会調査の基礎				単位	2		
履 修	選択	関連資格	社会福祉士		ナンバリング	WE21202J		
開講年次	3年	開講時期	前期	該当DP	DP1-1 DP1-2 DP2-1 DP2-2 DP5-2			
担当教員	杉谷 修一							
授業概要	本講義では社会調査の意義と目的および方法の概要について理解することを目標とする。社会調査は社会的存在としての個人から制度にいたる幅広い対象を量的・質的なデータとして把握しようとするものである。それらの特徴を区別・理解した上で、適切な社会調査を行うための実践的基礎を養う。また、社会調査をめぐる倫理上の諸問題を検討し、社会調査に携わる者としての最低限必要とされる倫理的態度と方法を学ぶ。							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会調査の意義と目的を理解できる。 2. 統計法の基礎を理解することができる。 3. 量的データとその分析方法について理解し、活用できる。 4. 質的データとその方法について理解し、活用できる。 5. 社会調査における倫理と個人情報保護を理解できる。 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100	
知識・理解 (DP1-1)	40						40	
知識・理解 (DP1-2)	30						30	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)	5						5	
思考・判断 (DP2-2)	5						5	
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度 (DP4-1)								
態度 (DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)	20						20	
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会調査の意義と目的を説明できる。 2. 統計法の目的と罰則、対象となる統計の種類などについて理解できる。 3. 量的データの意味を理解し、その分析方法の特性の理解を深め、活用できる。 4. 質的データの意味を理解し、その分析方法の特性の理解を深め、活用できる。 5. 社会調査における倫理と個人情報保護を理解できる。 				<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会調査の意義と目的を説明できる。 2. 統計法の目的と罰則、対象となる統計の種類などについて理解できる。 3. 量的データの意味を理解し、その基礎的分析方法を活用できる。 4. 質的データの意味を理解し、その基礎的分析方法を活用できる。 5. 社会調査における倫理と個人情報保護を理解できる。 				
授業計画								

進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	テーマ:社会調査とは何か 社会調査の意義と目的について概観する。	講義	特になし。	
2	テーマ:身近にある社会調査 私たちの身近にある社会調査を手がかりに、社会調査がどのように行われているのかを学ぶ。また社会調査を支援する技術や道具について紹介する。	講義	新聞やインターネットを活用し、身近な社会調査の実例を探す。	60
3	テーマ:統計法の基礎 新旧統計法の違いなどにも着目しながら、統計法の目的、罰則、対象となる統計などについて理解する。	講義	授業内容の定着を図る。	30
4	テーマ:社会調査における倫理と個人情報の保護 社会調査を行う際の倫理について学び、データの取得・分析・管理・発表などの各段階で個人情報を保護する方法を理解する。	講義	授業内容の定着を図る。	30
5	テーマ:ふたつのデーター量的データと質的データの違いー 社会調査が取り扱う二種類のデータの違いを理解する。また、データの尺度水準の違いを具体的データに照らして学ぶ。	講義	授業内容の定着を図る。	60
6	テーマ:量的データと調査(1) 仮説構成と調査計画、調査表の作成といった、データ収集段階までの流れを学ぶ。	講義	授業内容の定着を図る。	60
7	テーマ:量的データと調査(2) 標本抽出法の種類と特徴について学ぶ。	講義	授業内容の定着を図る。	60
8	テーマ:量的データと調査(3) コーディングの種類、エディティングの方法などデータ分析の準備段階について学ぶ。	講義	授業内容の定着を図る。	60
9	テーマ:量的データと調査(4) 母集団と標本の概念について学び、それが調査計画から分析まで関連することを理解する。	講義	授業内容の定着を図る。	60
10	テーマ:量的データと調査(5) 収集したデータの分析技法について学ぶ。既に学んだ尺度水準と結びつけながら、適切な分析技法を理解する。	講義	授業内容の定着を図る。	60
11	テーマ:量的データに関する復習 これまでの量的データに関する学習内容を復習し、簡単なテストの実施・解説を通じて理解を深める。	講義	量的データに関する学習内容を復習する。授業内容の定着を図る。	90
12	テーマ:質的データと調査(1) 質的データ収集に関する仮説構成とフィールドワークの概念について学ぶ。	講義	授業内容の定着を図る。	60
13	テーマ:質的データと調査(2) 観察法の種類と特徴について学ぶ。	講義	授業内容の定着を図る。	60
14	テーマ:質的データと調査(3) 面接法の種類と特徴について学ぶ。	講義	授業内容の定着を図る。	60
15	テーマ:質的データと調査(4) 質的データの分析技法の種類と特徴について学ぶ。	講義	授業内容の定着を図る。	60
16				
17				

18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	データ分析については、高校段階までに学習した基礎的な数学の知識をもとに進めていく。難しい計算を行うなどの技能は要求されないが、データを通じて集団をイメージし、白か黒かではなく確からしさを数字で判断しながら読み解いていく感覚が必要となる。			
テキスト	『社会調査の基礎 第3版』(新社会福祉士養成講座 第5巻)中央法規			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	授業では適宜レジュメなど補足資料を配付・活用する。その他の参考書は授業中に紹介する。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	<p>テキストだけでは理解しにくい部分もあるため、レジュメやパワーポイント資料などを配付する。これらの資料もテキスト同様学習範囲であるので、きちんと理解して欲しい。</p> <p>社会福祉士国家試験の問題なども授業中に取り上げ解説していく予定である。授業内容と国家試験の問題の違いを意識し、今後の学習に役立てて欲しい。</p> <p>社会調査は一見難しく見えるが、じっくり取り組めば得意科目にすることができる。じっくり、繰り返し学習を進めていくことが大切である。</p>			
達成度評価に関するコメント	テストについては授業中に指示する。			